

今日は『冥王星』の日 ☆

今日2月18日は『冥王星』の日だそうです。1930年（昭和5年）のこの日、アメリカ・ローウェル天文台の天文学者クライド・トンボウ（Clyde Tombaugh、1906～1997年）が太陽系第9惑星「冥王星」を発見したそうです。以前から天王星の外側にもう1つの惑星があると予言されていましたが、予想をはるかに下回る暗さ（15等星）のため、発見が遅くなったそうです。名前の『冥』には「暗い」「光がない」という意味があるそうです。

ちなみに近年、理科の教科書で太陽系の惑星から『冥王星』がはずれたことをご存じでしょうか。せっかく太陽系第9惑星として発見されましたが、2006年に『準惑星』となりました。理由は、月よりも小さいことや、周回軌道が他の惑星と異なるから等だそうです。

科学の進歩や研究が進んだことにより、学んできたことが変わる、教科書が変わる、ということは、実はけっこうあるようです。例えば、私が中学校の頃は、**鎌倉幕府は1192年**（＝**イイクニ**作ろう、鎌倉幕府）と習いました。今では、**1185年**となりました。歴史の研究を重ねた結果、そのようになったようです。

科学も教科書も学びも変化するものだと思います。今週で今年度のテストは全て終了しましたが、**時代に合わせた学び**を太宰府西中学校においても実践していかなければならないと感じました。



準惑星『冥王星』